

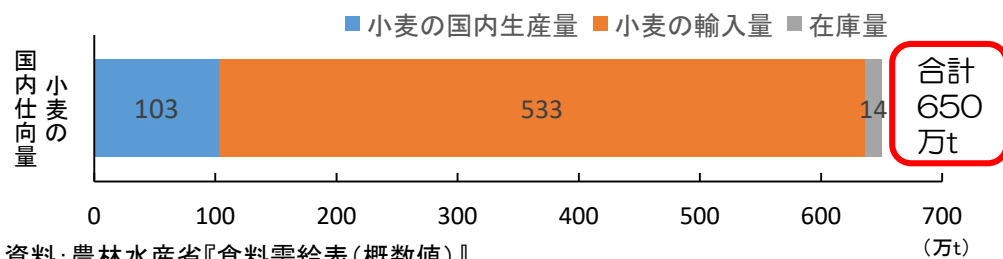
小麦

小麦の自給率は16%

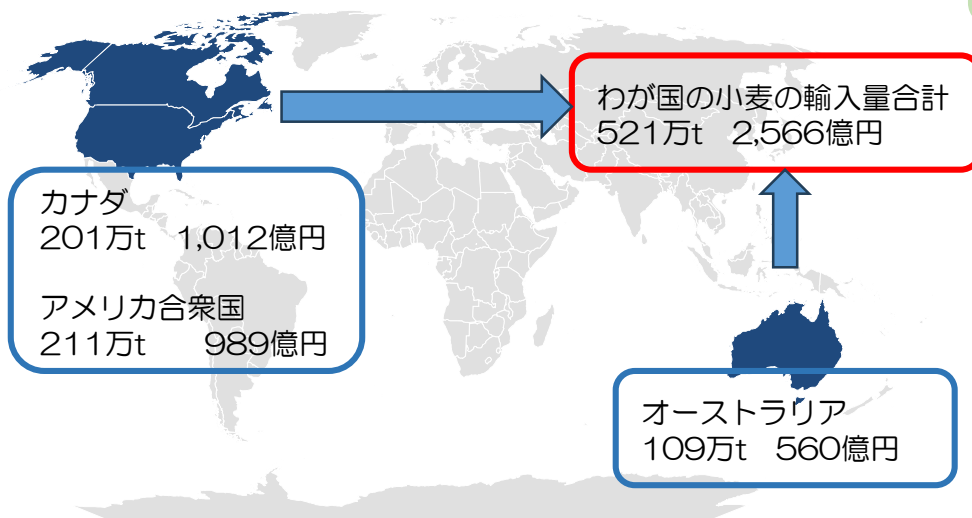
わが国の小麦は8割以上を輸入に頼っています。

主な輸入相手国はカナダ、アメリカ合衆国、オーストラリアで、この3か国が輸入小麦のほぼ全量を占めています。

○小麦の国内仕向量の内訳(令和6年)



○小麦の主な輸入相手国(令和6年)



提供元: Bing

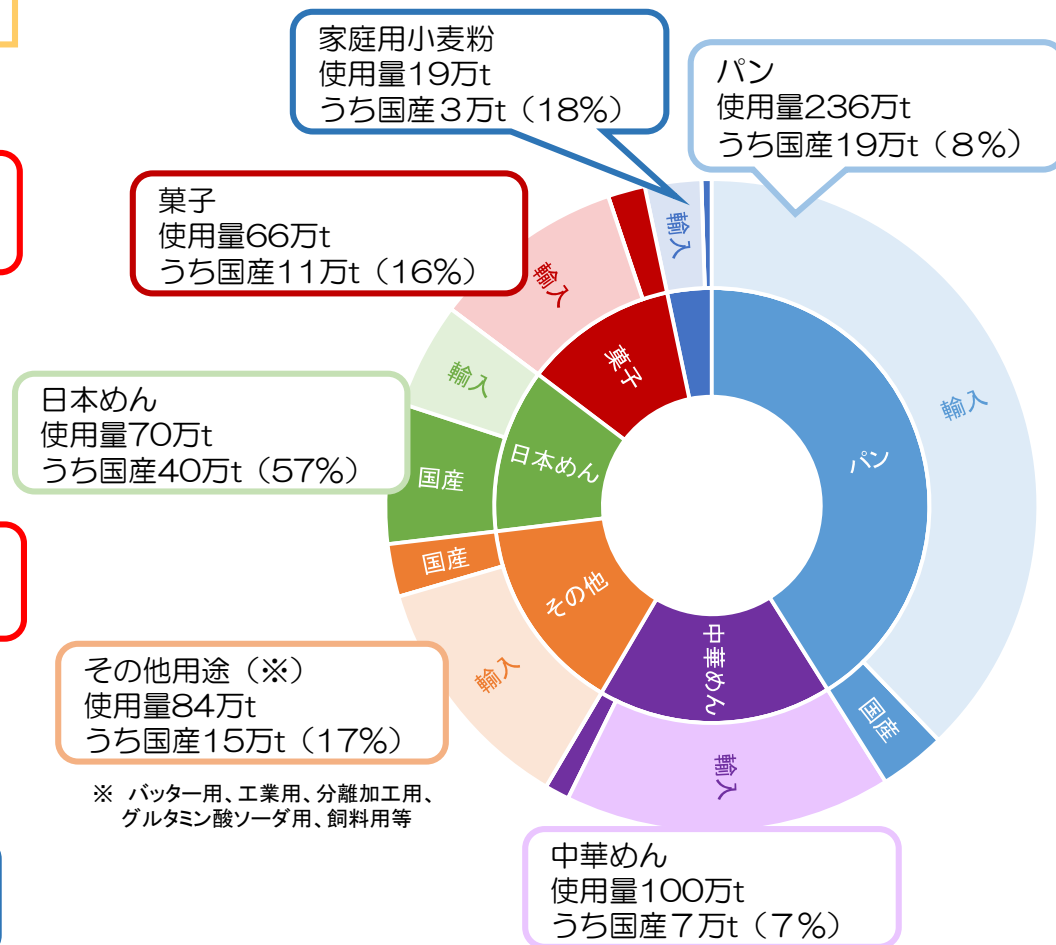
資料:農林水産省輸出・国際局『農林水産物輸出入概況』

注:穀粒の状態の小麦の輸入量等であり、小麦粉及び小麦加工品は含みません。

小麦の用途によって国産小麦の使用割合も異なる

国産小麦の使用割合は、「パン」や「中華めん」では1割以下と低い一方で、うどん等の「日本めん」では約6割となっています。

○国産小麦の用途別需要動向(令和4年産玄麦ベース)



資料:農林水産省農産局『麦の生産をめぐる事情(令和8年5月)』

注:令和5年度に実施した実需者ヒアリングをもとに農林水産省貿易業務課で作成した図表を基にグラフ化しました。



小麦は乾燥した気候を好み、穂が実る刈取り時期の雨には弱い植物です。

東海地方の小麦は11月頃に種をまき、6月頃の刈取り時期には雨の日と重なることが多く、収穫量や品質を安定化させることが小麦栽培を行う上での課題となっています。

東海3県の小麦の収穫量は国内でも上位

○小麦の収穫量(令和7年産)

順位	都道府県	小麦収穫量 (1,000 t)	全国に占める 割合 (%)
	全 国	1,031	
1 (1)	北 海 道	672	65
2 (2)	福 岡	65	6
3 (3)	佐 賀	46	4
4 (4)	愛 知	35	3
5 (8)	三 重	25	2
6 (7)	滋 賀	24	2
7 (5)	群 馬	23	2
8 (6)	埼 玉	21	2
9 (10)	熊 本	18	2
10 (9)	茨 城	14	1
11 (11)	岐 阜	13	1

愛知県の小麦の10a当たり収量は全国1位

愛知県では栽培技術の向上や、多収品種(※)への置き換えが進んだため、令和7年産の10a当たり収量が全国1位となりました。

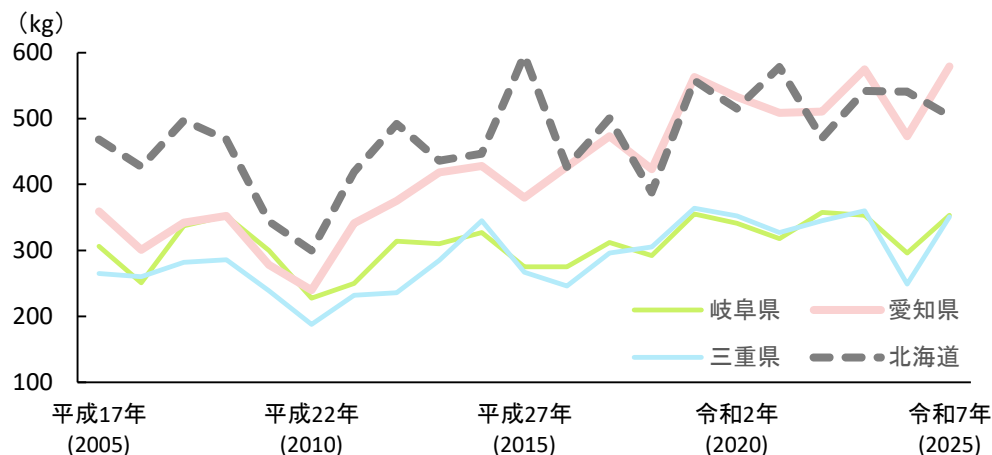
過去の調査結果から推移をみると平成22年(2010年)ごろを境に愛知県の10a当たり収量が増加傾向となっています。

○小麦の10a当たり収量 (令和7年産抜粋)

※多収品種等の詳細は
[東海農政局Webページ](#)
『[東海地域の麦をめぐる事情](#)』をご参照ください。

順位	都道府県	10a当たり 収量 (kg)
	全 国	449
	都 府 県	373
1	愛 知	579
2	北 海 道	504
3	宮 城	446
	⋮	
12	岐 阜	353
13	三 重	351

○東海3県及び北海道の小麦10a当たり収量の推移 (平成17年産～令和7年産)

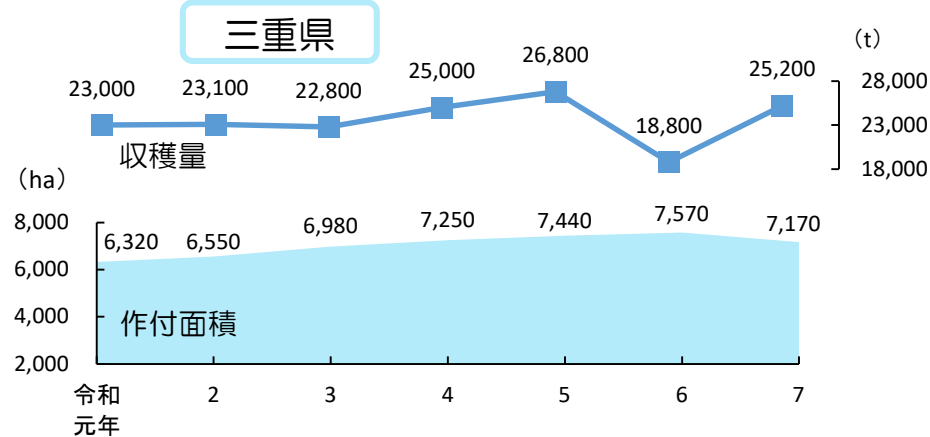
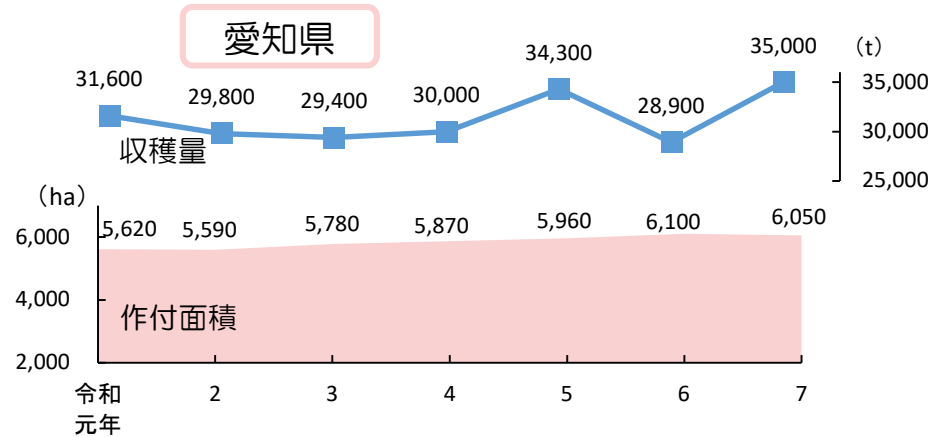
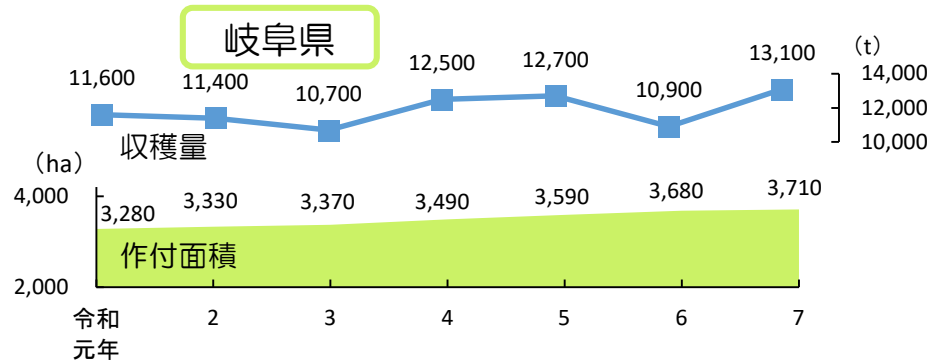


資料:農林水産省統計部『作物統計』

資料:農林水産省統計部『作物統計』
注: ()内の数値は前年順位です。

東海3県の小麦作付面積は増加傾向

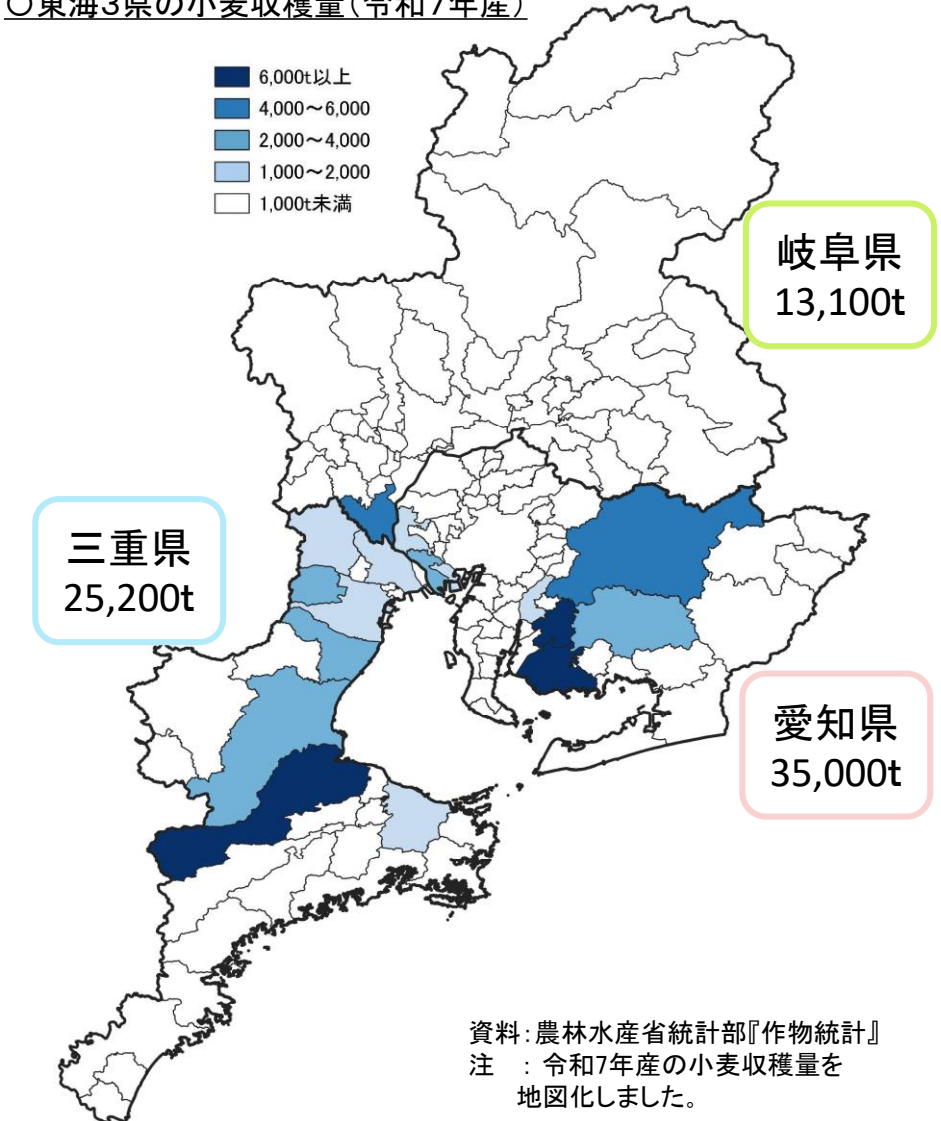
○東海3県の小麦の作付面積および収穫量の推移 (令和元年産～令和7年産)



東海3県での主な栽培地帯は愛知県西尾市、安城市、岐阜県海津市、三重県松阪市

多くの水田を集積して、米、麦、大豆の順番で計画的に作る2年3作の「ブロックローテーション」が行われています。

○東海3県の小麦収穫量(令和7年産)



○小麦のは種(愛知県西尾市)



○小麦の出穂(しゅっすい)(三重県菰野町)



○小麦の収穫(愛知県稲沢市)



「図でわかる東海3県の農林水産業」(小麦)の作成に当たり、次の統計調査並びに資料を利用して作成しました。

農林水産省統計部『[作物統計](#)』



農林水産省輸出・国際局
『[農林水産物輸出入概況](#)』



農林水産省『[食料需給表](#)』(概数値)



農林水産省農産局
『[麦の生産をめぐる事情](#)』(令和8年5月)



?

a(アール)とは?

aは面積の単位で、1 a=100m²です。



10a(1,000m²)当たり収量は作柄(作物の出来)を示す指標として使われています。

なお、10,000m²=100 a=1 ha(ヘクタール)です。